



地域支えあいニュース

第5号

発行日 平成29年2月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

第3回勉強会を行いました

いよいよ第2層協議体設置に向けた、最終の勉強会が平成29年2月12日(日)に行われました。



冒頭は、さわやか福祉財団の長瀬さんからここまで学んできたことの振り返りを行い、参加した寺尾南地区、吉岡地区、上土棚地区の皆さんがここまで学んできた中での疑問や不安、今後協議体作りを進めていくために必要な事項などを話し合いました。

そして、3地区全てがモデル地区として発足していくことを確認し、いよいよ新たな支え合いの仕組みである第2層協議体がスタートします。

参加者からの質問と意見

- 要支援1・2の人がサービスを利用できなくなるという問題はどうなるのか?
→現在進めているのは「生活支援体制整備事業」で、質問の件は「介護予防日常支援・総合事業」のことである。このことは行政を中心に別途進めていかなければならないが、この協議体とは別に考える必要がある。
- 先行事例はないか?
→全国どこを見ても同じ事例はない。地域それぞれの特性を生かした運営を行っている。
- 綾瀬市の第2層圏域設定の構想は?
→国が定めている想定域は概ね中学校区。綾瀬市は5校だが、プロジェクト会議では14圏域を想定している。しかし、単独では運営が困難な場合などは隣の地区と合併する、人口の多い地域は分離するなど実情に応じて柔軟に対応していく。
- 参加するみなさんが負担や不満を感じない仕掛けが必要だと思う。
→雰囲気作りが大事。組織を作るのではなく仕組みを作ることを強く意識する必要がある。
- 自治会の理解が必要だと思う。どのように周知していくのか?
→自治会長連絡協議会で、案内をしていく予定。
- やはり金銭的な協力が必要だろう。
→国の予算は取れているが、それはあくまで活動費。今は何も決まっていないから活動費も必要ない。具体的になってくればお金は付いてくる。スタートメンバーがその仕組みを作れば良い。

今後の予定

- (仮称) 寺尾南地区第2層協議体発足式 平成29年3月9日(木)
- (仮称) 上土棚地区第2層協議体発足式 平成29年3月26日(日)
- (仮称) 吉岡地区第2層協議体発足式 平成29年4月6日(木) ※各協議体の正式な名称は今後検討します。